

中東情勢の危機

イスラエルとイランの状況

原油価格への影響

工ネルギー資源新聞

衝突を避けるには

新たな電力政策

石油や石炭やウランなどの化石燃料に頼る発電ではなく、環境に比較的の影響を与えない大規模な運用を陽光や地熱発電や水力発電の効率的な運用を見つけ出すことが、今最も求められているのかもしれません。再生可能エネルギーであれば、他国に頼ることなく電源確保ができるという大きなメリットがあります。しかし、それに到達するには厳しい規制があるのもまた事実です。

エネルギー戦略

電などの再生可能エネルギーなどの資源開発が難しい状況にあることは間違いない。しかし今後のことを考えると一定の範囲で地熱発電などの開発計画を進めることが求められる。再生可能エネルギーによる電源開発は極めて重要であるからだ。

環境政策
資源開発

日本は自然環境を守るために多くの法律で規制を行っている。それにより地熱

求められる政策

石油に依存するエネルギー政策から離れることが、今

今の日本国内の原子力発電所は、不安定な状況を抱えています。使用済み核燃料の問題だけでなく、原発を運用すれば必ず生じる最終の核のごみの処分地を決まつてない、この状況では、いざれ核燃料サイクルを解決するには、早急に核のごみの処分方法を定めるとともに、安全な処分地を決めることが極めて重要なことになります。核のごみの問題は、日本だけのことではありません。多くの国で最終りません。多くの国で最終

原子力発電は安全か

でしょう。日本政府は最悪のシナリオを想定して動くことが求められるのは、可能性の段階ではあります。が、〇とは言えないでしよう。中東からの原油供給が停止するということが高く予測されます。すでに軍事衝突を一度はしていることから、

イスラエルとイランがまた戦闘状況に陥るのではないのかとの予見から、原油価格に変動が見られます。今後、両国の関係と行動によつて原油の取引価格は大きく値動きすることは間違いないでしょう。日本政府は最悪

2度目の軍事衝突も容易に起きる」と予測されます。さうに戦争が拡大すれば中東戦争に発展することも予測されており、そうなれば原油の安定供給に大きく影響が出ることは間違いないでしょう。

中東情勢

中東からの原油供給は事実上停止になることから仲裁を求めますが。それに従うかどうかはわかりません。

うなことが再び起ることの可能性を否定することは極めて難しいことも、また事実です。

の日本に求められるエネルギー政策ではないでしょ
か。バイオ燃料などを使
た新しいエネルギー政策を

日本エネルギー政策は、東に依存することが多いです。分散させることで、安

も石油に依存する今の国を
社会の環境を変え、より安
定的な政策が実行できる
かもしれません。その道は複
単なものではありませんが
長い目で見れば、良い方で
に進むかもしれません。へ
は、それが最も重要なのは
いでしょうか。いつまでも
何かにすがり続ける政策は
極めて危険であることは間
違いないでしょう。

ことができると思われます、特定地域に供給源を頼りますと、地政学上危険なことがあります。エネルギー資源の安定供給を考慮するなら、分散型に切り替えることや、エネルギー資源についても特定のものへの依存度を下げる、これらも分散型にすることで、安定供給が可能となり、問題が特定地域に生じても影響を最小限に済ませることができるでしょう。

